

令和6年度下水道事業決算の概要

余市町下水道事業は令和6年度から地方公営企業法を適用し、公営企業会計に移行しました。
令和6年度の決算状況は、総収益が7億7,423万円、総費用が7億6,196万円で、1,227万円の純利益となりました。

◆収益的収支 (汚水処理や施設の維持管理をするための取引) (単位:万円)

収 益		費 用	
区 分	6年度	区 分	6年度
1 営業収益	2億7,047	1 営業費用	6億9,235
①下水道使用料	2億5,509	①管渠費	1,257
②負担金	1,527	②ポンプ場費	2,497
③その他営業収益	11	③処理場費	1億2,869
2 営業外収益	5億376	④総係費	5,138
①受取利息及び配当金	9	⑤減価償却費	4億7,426
②他会計補助金	2億9,491	⑥資産減耗費	48
③長期前受金戻入	2億875	2 営業外費用	6,543
④雑収益	1	①支払利息	6,405
		②雑支出	138
		3 特別損失	418
		①その他特別損失	418
合 計	7億7,423	合計	7億6,196
当年度純利益	1,227		

◆資本的収支 (下水道施設の更新等をするための取引) (単位:万円)

収 入		支 出	
区 分	6年度	区 分	6年度
1 他会計補助金	4,909	1 建設改良費	16億8,735
2 国道補助金	8億5,211	2 企業債償還金	5億9,992
3 負担金	5億2,015		
4 基金繰入金	7,607		
5 企業債	6億1,270		
合 計	21億1,012	合 計	22億8,727

※資本的支出額が収入分を上回っている分1億7,715万円は、前会計からの引継金などで補っています。

※「資本的支出」は、支出の効果が次期以降に及び将来の収益に対応するものになります。
具体的には、下水道施設の整備などの建設工事等が資本的支出であり、公営企業会計では、これに企業債償還元金等を加えたものとなります。
また、これら建設工事等に充当される国や道からの補助金、負担金、企業債(町の会計でいう「町債」)等が「資本的収入」となります。

◇貸借対照表 (令和7年3月31日現在)

(単位:万円)

資産の部		負債の部	
固定資産	126億1,908	固定負債	56億3,590
有形固定資産	126億958	企業債(注3)	56億3,590
土地	3億1,405	流動負債	6億414
償却資産(注1)	127億6,979	企業債(注3)	5億8,562
減価償却累計額	▲4億7,426	未払金	1,616
無形固定資産	950	預り金	8
流動資産	2億1,694	引当金	228
現金預金	1億6,292	繰延収益	61億4,943
未収金(注2)	5,385	長期前受金	63億5,794
その他流動資産	17	長期前受金収益化累計額	▲2億851
		負債合計	123億8,947
		資本の部	
		資本金	2億4,729
		剰余金	1億9,926
		資本剰余金	1億8,699
		国庫補助金	1億6,718
		一般会計繰入金	1,207
		受贈財産評価額	774
		利益剰余金	1,227
		当年度末処分利益剰余金	1,227
		資本合計	4億4,655
資産合計	128億3,602	負債・資本合計	128億3,602

注1 「償却資産」は、「建物」・「構築物」・「機械及び装置」等、資産の取得価額の総額です。

注2 「未収金」には、4月に徴収することとなる3月分の使用料等が含まれています。

注3 「企業債」(町の会計でいう「町債」)の残高は、1年以内に償還するものは流動負債、それ以外のは固定負債へと分かれています。

令和6年度末の借入金残高は、62億2,152万円で、処理区域内人口一人あたりにすると、およそ45万円になります。